

アジサイ

花レシピ

管理と楽しみ方

04

<購入後の管理>

- 置き場所……………室内の明るい場所に飾りましょう。
- 水やり……………学名には「水の容器」の意味があるとおり、水切れは厳禁の植物です。
特に開花中は水を欲しがるので、毎日～1日おき程度の間隔でたっぷり与えます。
- 開花中の管理…水やりのみで結構です。

<開花後の管理>

- 庭などに植える場合…
開花後、夏季の直射日光が当たらない場所に植え込んで下さい。
- 引き続き室内等で楽しむ場合…
開花後、ひと回り大きな鉢に移植するか、株分けをして下さい。
- 肥料……………開花後、緩効性肥料を1鉢または1株あたり5g与えてください。
- 剪定……………開花後、花の咲かなかった枝は残し、咲いた枝は地際から12～13cmのところで切り戻してください。剪定しないと草丈が高くなり、来年花が咲く際に花の重みで枝が折れたり、樹型が乱れる元になります。ただし、秋口からの剪定は厳禁です。アジサイの花芽は10月中旬頃にできるので、せっかくできた花芽を除去してしまう原因になります。また、剪定後芽が出て、若すぎて花芽が付きにくくなります。

<得する豆知識>

- アジサイには解熱効果があると言われています。咲いている花だけを切り取って乾燥させたものか、開花後枯れた花を10g程度、水で煎じます。1日3回、温かいまま服用します。
- アジサイの花色は、土壌のpH（酸度）に関係しています。赤系は土が中性で、青系は酸性でより鮮明に色が出ます。青い品種が地植えした後に紫色になるのは、このためです。
(白色は特に関係ありません)

